

# ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 206

2009年

1～2月号

## 2009年の新春にあたり思うこと

会長 間野 吉幸

あけましておめでとうございます。会員の皆様には良い新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。皆様におかれましては、今年も色々な野鳥との出会いが沢山有ることを願っています。

昨年の探鳥会は、定例及び遠出探鳥会とも降雨により中止せざるを得ない状態が多くありました。そのため探鳥会を通して会員の皆様が親しく歓談される場が少なくなったことが大変残念に思いました。

しかし、探鳥会以外でも当会の活動は目覚ましいものがありました。昨年の9月には懸案であったホームページが、立派な内容で立ち上がりました。更に充実したものへとホームページ担当メンバーの方々は頑張っております。一昨年に引き続き、我孫子野鳥を守る会の写真集 2008年版も会員のご努力で整備することが出来ました。この写真集のお陰で、ホームページや对外発表等に写真が幅広く活用出来るようになりました。

当会制作のオリジナル紙芝居は4作目になり、ジャパンバードフェスティバル(JBF)での上演に際し子供達の協力を得、素晴らしい紙芝居になったことをご報告します。子供達の大変優れた能力を見せて貰いました。ご協力下さった関係者の皆様に感謝致します。JBFでは紙芝居以外に「バードクイズ」「船上バードウォッチング」「沼畔バードウォッチング」「庭に鳥を呼ぶ」「パネル展示(手賀沼周辺で観察された野鳥)」と盛りだくさんの行事を行い、見学者に当会をアピールしました。その他に小中学校他の探鳥指導、各種行事への参加を通じ野鳥への啓蒙活動を数多く行って参りました。

国内では、アホウドリの鴛島への再導入計画、野生復帰に向けたトキの試験放鳥など絶滅危惧種の保護育成活動が積極的に行われています。

我孫子野鳥を守る会は、1972年10月より会員の皆様の鳥便りをデータベースとして記録して参りました。2008年11月20日現在で実に51,451件のデータが記録され、過去35年間で237種の野鳥が手賀沼周辺で観察されました。年間約150種の野鳥が見られています。水鳥の数は減少しましたが、手賀沼周辺はこれだけの野鳥が観察出来る場所であり、これらの環境を維持改善するには、野鳥が好きな人を増やす必要があると考えます。私達の財産は地道に積み上げた記録と休むことなく続けてきた活動です。楽しい野鳥観察を通し生き生きとした生活を送り、少しでも住みよい環境になるよう皆様と共に活動して行きたいと思っております。

## 行 事 案 内

### 1月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 1月11日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 2009年最初の定例探鳥会です。手賀沼の水鳥、葦原の小鳥、そしてワシ・タカと沢山の鳥達を期待しましょう。新年早々どんな鳥に出会えるか楽しみです。

解 散 正午  
担 当 北原、佐々木、松田、桑森、小林(寿)、野口(紀)

以上、特に昨年は63種が観察されています。ミヤコドリやシノリガモなど多くの鳥たちと出会い、2009年の探鳥をスタートしましょう。なお、現地の状況により立ち寄り場所を変更することもあります。

交 通 自家用車分乗です。便乗者は一人1,500円を運転者にお渡しください。申し込みの際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡ください。

持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食  
申 込 桑森亮まで  
Tel/Fax : 04 - 7182 - 3149

担 当 桑森、六角

### 2月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 2月8日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 一年のうち極寒期ですが水鳥は多く見られる時期です。手賀沼のカモ達もすっかり冬羽で美しくなり求愛ディスプレイも観察できます。葦原の小鳥、沼上空や農耕地の猛禽類にも期待しましょう。

解 散 正午  
担 当 桑森、松田、佐々木、小林(寿)、野口(紀)、北原

### 銚子港周辺カモメ探鳥会

期 日 1月18日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子駅北口 午前7時30分  
案 内 当地はカモメを観察するには日本有数の探鳥地です。識別が難しいカモメ達をじっくり観察しましょう。珍鳥の出現があるかもしれません。皆様の参加をお待ちしています。

交 通 自家用車分乗です。分乗者は1人1,500円を運転者にお渡し下さい。申込の際、車提供可能な方はその旨ご連絡下さい。

持 物 観察用具、昼食(途中購入可)、雨具、防寒具。  
厳しい寒さが予想されます。防寒対策をお忘れなく。

申 込 諏訪哲夫まで  
Tel/Fax : 04 - 7188 - 7137

担 当 諏訪、大久保、染谷

### 波崎・北浦探鳥会

期 日 1月3日(土) 雨天中止  
集 合 我孫子駅北口 午前8時  
案 内 毎年恒例の新年探鳥会です。小見川の葦原ではワシタカ、神之池・波崎漁港周辺ではカモメ・カモ類、北浦ではハクチョウなど、変化に富んだ探鳥会です。鳥の種類も毎年50種

## 井頭公園探鳥会

期 日 2月1日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子駅北口 午前8時  
案 内 水辺の鳥と里山の鳥(ミコアイサ、  
ヨシガモ、ミヤマホオジロ、ベニマ  
シコ等)。昨年は雪で中止になって  
しまいましたが例年40種以上観察  
されています。  
持 物 防寒具、弁当(途中購入可)  
交 通 観光バス  
費 用 3,000円(バス代)  
申 込 小林寿美子まで 1月25日締切  
Tel/Fax: 04 - 7188 - 5173  
担 当 小林(寿)、染谷

## 福島市小鳥の森探鳥会

期 日 2月21日(土)、22(日)  
集 合 我孫子駅北口 午前7時  
案 内 福島市小鳥の森、阿武隈川親水公園  
で探鳥し、時間があれば帰路の途中  
いわき海岸で海鳥を探します。  
小鳥の森ではシメ、カシラダカ、ジ  
ョウビタキ、ツグミ、シロハラ、ア  
オゲラ、ミヤマホオジロ、レンジャ  
ク類等、阿武隈川親水公園ではオオ  
ハクチョウ、オナガガモ、キンクロ  
ハジロ、ホシハジロ、ヒドリガモ、  
ミコアイサ、カワアイサ等、いわき  
海岸(漁港)ではクロガモ、シノリ  
ガモ、ピロードキンクロ等が期待で  
きます。  
交 通 今井観光小型バス  
宿 舎 旅館 文知摺(もちずり)  
福島市北中川原22-2  
Tel: 024 - 534 - 7409  
費 用 参加人数によりますが、およそ  
24,000~28,000円程度を予定  
2日間の昼食は各自負担  
持 物 観察用具、雨具、防寒具、靴は雪な  
どで滑らないもの、常備薬等  
申 込 鈴木静治まで  
受付開始は1月3日(土)

定員15名になり次第締め切ります。

Tel: 04 - 7169 - 4191

担 当 田中(功)、鈴木(静)  
探鳥地やスケジュールの詳細は参加申し  
込み頂いた方に、後日お知らせします。

## 市民手賀沼探鳥会

期 日 1月25日(日) 小雨実施  
集 合 手賀沼親水広場 午前9時  
案 内 我孫子市、我孫子市環境レンジャー  
と当会共催の探鳥会です。一般市民  
と一緒に手賀沼遊歩道を歩いての  
探鳥会で、大勢の市民の方が参加さ  
れますので、会員の皆様の沢山のサ  
ポートが必要となります。参加され  
た一般市民の方からは、野鳥を至近  
距離で目の当たりにして大変良か  
ったとの言葉を頂いております。オ  
オタカ等の猛禽類をはじめ色々な  
野鳥が観察される季節でもありま  
す。多くの会員の皆様の参加をお待  
ちしております。  
担 当 染谷、佐々木、松本、間野

### 1月幹事会開催案内

日 時 1月11日(日) 13:30~16:00  
場 所 アピスタ 1F 工作芸室  
議 題  
H21年上期 行事予定  
会報207号記載記事について  
第3四半期会計報告  
報告事項(JBF実行委員会反省等)  
その他の議題がある場合は事務局へご連絡  
ください

## 行事報告

### 10月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 10月12日 9:00~12:00

晴れ 気温 20

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ミサゴ、ハヤブサ、バン、セイタカシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、エナガ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 28 種  
番外 ホオジロカンムリヅル

<探鳥班> 吉田隆行、首藤佑吉、間野吉幸、西巻実、池田日出男、下村蓉子、吉川民子、山口キイ、田中悟、栗田励、西昭子、山岸国彦、田丸喜昭、中野久夫、植田啓介、常盤孝義、桑森亮、六角昭男、武藤康之、佐藤弘美、古出洋子、古出なつき、小川克子、類地佑子、宮下三禮、小林寿美子、西嶋昭生、西嶋みどり、石渡成紀、(担当)松田幸保

参加者 30名

<カウント班> 木村稔、佐々木隆、染谷迪夫

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	1	2	3
カワウ	40	94	134
ゴイサギ	4	0	4
ダイサギ	4	1	5
チュウサギ	1	2	3
コサギ	5	12	17
アオサギ	4	9	13
コブハクチョウ	3	12	15
カルガモ	9	19	28
コガモ	0	32	32
オナガガモ	0	14	14
オナガガモ	0	28	28
キジバト	2	0	2

オバン	0	2	2
セイタカシギ	0	3	3
ユリカモ	0	45	45
セグロカモ	0	1	1
合計	73	276	349

<ピオトープ班> 猪爪敏夫、川田光男、谷山晴男、鈴木静治

全般: セイタカアワダチソウ、ヨシ等繁茂し観察困難。範囲外でオナガガモ、ヒヨドリの渡り。

水田: 刈り取った後の水田に稲の二番穂。

ピオトープ: 手作りし観察ゾーンの半分除草し排水路整備。手作りゾーンに刈取稲干。

通行人: 天気が良いので犬の散歩、ウォーキング、ランニング、自転車の人数。

### 11月手賀沼探鳥会とカウント

11月16日(日)の11月手賀沼探鳥会は雨天により中止しました。当日は12名の熱心な方達が集合しました。定例の手賀沼探鳥会は中止としましたが、初めての方1名を含む8名は手賀の丘公園方面へ探鳥に向かいました。ヒドリガモ、タゲリ等33種確認したそうです。皆さん、雨天にもかかわらずお疲れ様でした。(担当 佐々木隆)

<カウント班> 木村稔、佐々木隆、染谷迪夫、小玉文夫

調査日時 11月17日 9:10~12:05

曇り、15

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	7	2	9
バン	6	26	32

カムリカイツブリ	17	15	32
カワ	23	109	132
ゴイサギ	41	0	41
ダイサギ	7	2	9
コサギ	5	7	12
コブハクチョウ	3	12	15
マガモ	9	4	13
カガモ	73	18	91
コガモ	50	5	55
オカサガモ	22	0	22
ヒドリガモ	18	36	54
オカガモ	3	0	3
ミコアイサ	0	7	7
オバン	25	5	30
タゲリ	0	12	12
セイタカサギ	2	0	2
ユリカモメ	4	26	30
セグロカモメ	0	3	3
合計	315	289	604

<ピオトープ班>猪爪敏夫、川田光男、谷山晴男、鈴木静治  
 調査日時：11月07日(金)9:30~11:20  
 曇り、弱風、16-20  
 全般：カムリカイツブリ・タヒバリ等の多  
 種類の野鳥が渡って来ているのを観  
 察した。

水田：刈り取った乾田に二番穂が出る。  
 ピオトープ：草刈り、池周囲のロープはり。  
 湿地植物群落再生・沈水植物育成実験  
 中  
 通行人：週日で降雨直後のせいか、散歩・自  
 転車等の通行は比較的少数。

## 手賀沼クリーン作戦

10月12日

10月12日の午後1時30分から約1時間  
 30分に亘り、当会が毎月定例探鳥会を実施  
 しているエリアの清掃を行いました。柏市沼  
 南地区下手賀沼 染井入落しから東約1k  
 mの範囲を行いました。収集したゴミは可燃  
 物、不燃物合わせて200Lに達しました。環  
 境維持のため毎年当会として行っている行  
 事です。

<参加者>染谷迪夫、佐々木隆、木村稔、野  
 口紀子、小林寿美子、類地佑子、宮下三禮、  
 古出洋子、古出なつき、佐藤弘美、松田幸保、  
 間野吉幸、中野久夫、田丸喜昭、桑森亮参加  
 者15名

## J B F 2 0 0 8

染谷迪夫

「ジャパンバードフェスティバル2008」が、11月8日(土)9日(日)の2日間、手賀沼公園、親水広場など計8会場で開催されました。当会も実行委員会の一員として下記のイベントを行いました。出展団体数102団体。  
 開催中のJBFへの来場者は2日間で、33,000人(JBF実行委員会公式発表)であった。当会ブースを訪れた人は2日間で1,300人位ありました。定点バードウォッチングや船上バードウォッチングを加えると1,900人以上が訪れました。お手伝い頂いた会員の皆さんにお礼申し上げます。尚、行ったイベントの状況を報告いたします。

### 1「庭に鳥を呼ぶ」 - ブース3 -

鳥の好む木の実や草の実を採集し、実物標本を陳列した。ブースを訪れた人は種類が多く感心していた。

陳列した木の実、草の実は次の通り(合計59種)

ナンテン、トウネズミモチ、カラスウリ、マンリョウ、シャリンバイ、アオキ、ユズリハ、ヒサカキ、ニシキギ、ムクノキ、ハナミズキ、セトイバナ(ヘクソカズラ)、エノキ、カキ、トキワサンザシ、タチバナモドキ、サンゴジュ、ネズミモチ、クサギ、シラカシ、ムラサキシキブ、ヒヨドリジョウ

ゴ、クズ、センリョウ、カツラ、アカメガシワ、カエデ、ハギ、ヤブコウジ、ノイバラ、ヌルデ、ツタ、アカマツ、ウツギ、ガマズミ、シロダモ、マテバシイ、イヌツゲ、エゴノキ、イチイ、フヨウ、スギ、キツタ、マサキ、ヤブラン、スダジイ、スズメウリ、アラカシ、ヌスビトハギ、ゴンズイ、ツルウメモドキ、ハダカホオズキ、コセンダングサ、イヌホオズキ、トベラ、ウンシュウミカン、アオツツラフジ、アキニレ

## 2 「パンフレット」ほかの配布 - ブース3 -

- ・バードケーキの作り方
- ・木の実のなる樹木のパンフレット
- ・エサ台の製作図と見本

## 3 「パネル展示」 - ブース2 -

“鳥の観察データを出現頻度別にレベル ~ レベル に区分したパネル及び 2007 年に手賀沼周辺で観察された鳥”、“35 年間で観察された珍しい鳥や貴重な鳥”の展示を行った。訪れた人は熱心に見ていた。

## 4 「紙芝居 沖縄のヤンバルクイナ」の上演 - ブース1 -

人間の影響による環境の変化で絶滅の危機に瀕しているヤンバルクイナを紙芝居で判りやすく解説。今年小学生の応援を得て好評であった。2 日間にわたって述べ 40 回位上演、観客 200 人以上。紙芝居の作者 首藤佑吉(当会会員)、作画 森元夏木(鳥博友の会会員)

## 5 「野鳥クイズ」 - ブース1 -

ブースを訪れた人や紙芝居を見た人達に 10 問 100 点満点の野鳥クイズを行った。満点賞として会員手作りの鳥のミニチュアを贈呈した。紙芝居を見た人は満点が多く、最後は鳥のミニチュアが足りなくなるほどであった。クイズ回答者には全員に鳥の写真カードとアメを景品として出した。今回は 2 日間で 229 人の方がクイズに参加した。

(宮下三禮)

## 6 「定点バードウォッチング」 - 水の館 噴水前-

1 日目は幸い小雨だったので店開きはできたが、天気が悪いので人出は少なかった。噴水前に来る人もばらばらという感じだった。昼すぎから雨があがったので少し人も出てきた。

2 日目は曇りだったので初日より人は大分出てくれた。噴水前に来る人が今年は熱心な人が多かったように思う。当会について質問する人も数人いた。去年から始めた写真添付は好評でほとんどの人が立ち止まってみている。カワセミが何度も現れたので多くの人に喜んでもらえた。

今年「バードウォッチング入門」を印刷してテーブルに置いたが結構持ってゆく人がいた。定点ウォッチングでは初めてクイナを見ることができた。バリケンには常にいるので今年もよく聞かれた。訪れた人 450 人(1 日目 152 人、2 日目 298 人)

### 2 日間で観察された鳥

アオサギ、ウグイス、エナガ、オオバン、オナガガモ、カイツブリ、カルガモ、カワウ、カワセミ、キジ、キジバト、クイナ、ゴイサギ、コガモ、コゲラ、コサギ、コブハクチョウ、シジュウカラ、スズガモ、スズメ、セグロセキレイ、セグロカモメ、ダイサギ、ハクセキレイ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、バン、ヒヨドリ、ホシハジロ、マガモ、ミサゴ、ムクドリ、モズ、ユリカモメ 計 34 種

番外種 アヒル、カワラバト、シナガチョウ、バリケン (諏訪哲夫)

## 7 「船上バードウォッチング」 - 受付 ヨットハーバー前-

今年の船上BWは例年より運行時間を30分早め、第一便を10時30分発としたが、初日の8日(土)から熱心な地元以外のバーダーが小雨の中にもかかわらず乗船申込みがあった。定員は35名であるが、初便から31名の申込みで、今年も相変わらずの人気イベントだ。その後の便は出航30分前には全て満席となり、お断りせざるを得ない状態だった。さて、鳥の出具合は、例年20種余りは出てるのだが、今年はカモ類が少なく、種類は昨年並みだったが、当会の手賀沼の調査データが示す通り、数は毎年少なくなっている。それと、天候が曇り空でカモの姿もシルエットとなり識別が難しかった。今年のハイライトは、8月から手賀沼周辺に出没している「ホオジロカンムリヅル」である。上沼に居ることは分かっているが船の運行に合わせていてくれるので、2日目の第2便に漸くその姿を、そして、「ミサゴ」は今年も杭の上で雄大な姿と飛翔を見せてくれた。水鳥では、カモは少なく近年「カンムリカイツブリ」が増えているように感じた。また、下沼の水深の深い場所では1メートルを超える「ハクレン」が船を歓迎するように水面を飛び上がりダイビングを見せてくれた。当会発行の乗船記念野鳥写真カード7種類を配布し好評だった。

2日間の乗船人員 171名

2日間で観察された鳥

カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、ミサゴ、チュウヒ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計28種

番外種 ホオジロカンムリヅル (桑森亮)

## みやこどり

田丸喜昭

最近、古今和歌集を読んだ。もちろん、私は詩歌に興味をもっているわけではないので、いわゆる「通読」だったが、その411番に、昔、百人一首で覚えた一句に出会った。

**名にしおはばいざ言とはむ都鳥**

**わが思うふ人は有りやなしやと**

在原業平朝臣の作である。この句は、伊勢物語の第九段から引用されている。歌の前書きに、都にいても必要とされない男と思ひ、現在の関東地方に住むべき場所を求めて旅に出たとある。三河、駿河を過ぎ、さらに進んで、武蔵の国と下つ総との中に、隅田川という大きな河があり、そこで、船頭から、「日が暮れるから、早く船に乗れ」と急がされた。船に乗ると、「白い鳥で、嘴と脚が赤く、鳴の大きさ」が水上を飛び、魚を捕らえている。京では見かけない鳥なので、船頭に問うと、「これは都鳥だ」とのことで、「お前が都鳥ならば、私が思う京の人は生きて居るのか、いないのか」と

上の一句を読み、同船していた人たちが、皆泣いたと書いてある。

もちろん、この鳥は、ミヤコドリではなく、ユリカモメのことである。

これを読んで、不思議に思ったのは、「都にいない都鳥」との印象を持ったのだが、現代では、京都の鴨川に、ねぐらを琵琶湖に持つユリカモメの群が、比叡の山を越えて、餌をとりに行くことを知っているからだった。昔は、京都にユリカモメがいなかったのだろうか？

古今和歌集と伊勢物語のこの部分や、解説を読んでいると、この歌でいう「都」は、京都ではなく、奈良だったのかなと思えてきた。ただ、在原業平朝臣は平安時代の人で、17才で右近衛将監に任じられ、56才のときに蔵人頭に任じられている、当時的高级官僚の一人で、略年譜の中にも、関東へ下ったことが出ていないので、「都に所在感がない」ような経歴の持ち主でないで、前時代の句からヒントを得た創作なのだろうと思える。

## 鳥 だ よ り

- 09.21 [染井入落] セイカギ (6) 10:29 ~ 11:55、干潟状の場所で餌を物色、1羽の両脚にアルミ製の標識あり  
飯泉仁・久美子
- 09.21 [染井入新田] イ (1) 10:29、電線に止まって高鳴きをしていた  
飯泉仁・久美子
- 09.21 [東中新宿] サバ (1) 7:42、杉の林の天辺に止まり、その後林縁で加判を捕獲し近くの社宅屋上で食べていた 飯泉仁
- 09.21 [東中新宿] ツ (1) 8:43、上空を鳴きながら巡回していた 飯泉仁・久美子
- 09.21 [千間橋] チョウ (1) 田の上空を飛ぶ 鈴木静治
- 09.22 [布佐] チョウ (1) 駅の上空を通過 鈴木静治
- 09.27 [染井入新田] ル (4) 圃場で餌を物色していた 飯泉仁・久美子
- 09.27 [染井入新田] ヒ (1) 上空を巡回していた 飯泉仁・久美子
- 09.27 [発作] ノ (1) 8:27、圃場上空を巡回していた 飯泉仁・久美子
- 09.27 [発作] チョウ (2) 8:53、上空を巡回し、1羽は気流に乗り上昇、1羽は圃場をハリリと餌を物色していた  
飯泉仁・久美子
- 09.28 [中新宿] サバ (1) 9:41、上空を高く巡回していた 飯泉仁・久美子
- 09.28 [千間橋] チョウ (46) 川中の蒲に留まる 鈴木静治
- 09.28 [発作] チョウ (81) 川岸の葦に留まる 鈴木静治
- 10.02 [下沼田] チョウ (1) 電柱頂上に留まる 鈴木静治
- 10.02 [千間橋] イ (1) 水面上を飛ぶ 鈴木静治
- 10.04 [江蔵地] ル (1) 川岸の葦にとまる 鈴木静治
- 10.10 [下沼田] イ (2) 橋の欄干に留った後、水面を飛ぶ 鈴木静治
- 10.12 [岡発戸新田] ミ (2) 沼の杭に留まる
- 猪爪敏夫・谷山晴男・川田光男・鈴木静治
- 10.12 [手賀沼] チョウ (3) 上沼1、下沼2 染谷迪夫・木村稔・佐々木隆
- 10.12 [手賀沼] チョウ (14) 下沼14 染谷迪夫・木村稔・佐々木隆
- 10.12 [手賀沼] チョウ (28) 下沼28 染谷迪夫・木村稔・佐々木隆
- 10.12 [手賀沼] チョウ (2) 上沼2 染谷迪夫・木村稔・佐々木隆
- 10.12 [手賀沼] チョウ (1) 上沼1 染谷迪夫・木村稔・佐々木隆
- 10.12 [手賀沼] ミ (2) 上沼1、下沼1 染谷迪夫・木村稔・佐々木隆
- 10.12 [手賀沼] セイカギ (3) 下沼3 染谷迪夫・木村稔・佐々木隆
- 10.13 [泉村新田] ル (1) 13:04、水田地帯の草に止まっていた  
飯泉仁・久美子
- 10.13 [大井新田先手賀沼] チョウ (2) 大津川河口の干潟で採餌 飯泉仁・久美子
- 10.13 [片山] ヤ (3) 12:37、鳴きながら木々を移動 飯泉仁・久美子
- 10.13 [染井入新田先手賀沼] ス (15) 水面を泳いでいた 飯泉仁・久美子
- 10.13 [染井入新田先手賀沼] ヒ (2) イ (1) 飯泉仁・久美子
- 10.18 [江蔵地] ハ (1) 電柱上にとまる 鈴木静治
- 10.18 [千間橋] ヒ (1) 川上空を輪をかいて飛ぶ 鈴木静治
- 10.23 [下沼田] ノ (1) 電柱上に留まる 鈴木静治
- 10.26 [東中新宿] ショウ (1) 10:35、鳴き声がした 飯泉仁・久美子
- 10.26 [東中新宿] チョウ (1) 10:21、西方向から電線に飛来し、あたりを見回した後に渡去した 飯泉仁
- 11.06 [江蔵地] ヒ (1) 上空を輪を描いて飛ぶ 鈴木静治
- 11.06 [江蔵地] チョウ (1) 電柱上より飛びさる 鈴木静治
- 11.06 [布佐] ヒ (2) 傾斜林上を飛ぶ



- 鈴木静治  
 11.09 [東中新宿] ツグミ(11) 8:28、東方向  
 から北西方向に鳴きながら群れで通過  
 飯泉仁  
 11.15 [大井新田先手賀沼] ミコアイサ(1) イク  
 プス 飯泉仁・久美子  
 11.15 [大井新田先手賀沼] オオサギ(2)  
 芦原で鳴いていた 飯泉仁・久美子  
 11.15 [片山] ヒヨドリ(2) 鳴きながら移動  
 飯泉仁・久美子  
 11.15 [片山] オオサギ(1) 13:06、上空を通過  
 飯泉仁・久美子  
 11.15 [鷺野谷] ヨウゾウ(1) 空中停飛  
 をして餌を物色していた  
 飯泉仁・久美子

今回寄せられた鳥の全種名

カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカ  
 イツブリ、カワウ、ゴイサギ、アマサギ、ダ  
 イサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、コ  
 ブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、  
 オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ス  
 ズガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、オオタ  
 カ、ノスリ、ツミ、サシバ、ハヤブサ、チョ  
 ウゲンボウ、ウズラ、キジ、バン、オオバン、  
 コチドリ、タゲリ、トウネン、イソシギ、タ

シギ、セイタカシギ、ユリカモメ、セグロカ  
 モメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、  
 ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タ  
 ヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ノ  
 ビタキ、ツグミ、ウグイス、セッカ、エナガ、  
 ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、アオジ、  
 オオジュリン、カワラヒワ、マヒワ、スズメ、  
 ムクドリ、カケス、オナガ、ハシボソガラス  
 計 67種  
 番外種 アヒル、シナガチョウ、バリケン、  
 ホオジロカンムリヅル

今回の投稿者の総投稿件数

猪爪敏夫・谷山晴男・川田光男・鈴 木静治	1
首藤佑吉	3
鈴木静治	42
染谷迪夫・木村稔・佐々木隆	32
染谷迪夫・木村稔・佐々木隆・小玉	
文夫	37
飯泉久美子	12
飯泉仁・久美子	203
飯泉仁	210
総計	540

会 員 便 り (ab-birdnet、ab-news より)

【ホオジロカンムリヅル】

木村さんのメールに誘われて、午後から手賀沼公園に行きました。いました。いました。ボートの上にはいました。行ったのは午後1時半くらいでしょうか。それから2時すぎに飛びました。手賀沼を横断しています。三脚を立てて撮影すると、人が寄ってきますが、普通は無関心です。それから対岸に行くため、駐車場に行き、そこで木村さんにお会いしました。木村さんは今日10時過ぎに小池ボート屋にゆくとホオジロカンムリヅルがいたそうです。それから今までいたんでしょう。(それは自由に飛んでいるから分からない)。木村さんは2羽見たのは誤りかもしれない。と話をしていました。南岸にいて飛んでくるのを見たわけですが、アオサギも大きさと翼の白が似ているので、一緒にいた人が2羽いるじゃないか、といいます。そのご2羽を見た話がないから、誤りかもしれない。と話をしていました。南岸に行きました。ヒドリ橋で見たら中洲の突端にいます。写真を撮っていたら話しかけた人がいます。その相手をしたらホオジロカンムリヅルがいないです。場

所を変えて探していたら、北岸のサイゼリア(違うかもしれませんが)の前のコンテナの上にあります。場所が分かれば北岸に行きました。3時過ぎです。そこで撮っていたら飛びました。南岸に行きました。3時12分です。中洲です。自由に手賀沼を横断していますから、場所は分かりません。(西巻実 10/20)

小池ボート屋のボートに居たりして、すっかり手賀沼に居ついたホオジロカンムリヅルの近況です。塹だった我孫子農産物直売所前の鉄柱は浚渫船の一部だったので、いつの間にか沖に移動してました。新たな塹が分かりました、今までの塹の近くにあるENEOS(ガソリンスタンド)前にある船のようです、ヨシがあるので沼南側からしか見えません。沼のあちこちへ飛び回っているようで、かなり知名度が上がってますね。(松田幸保 10/31)

昨日(11/08)はスコープを通した対岸に居たホオジロカンムリヅルですが、今日はブース(JBF手賀沼公園)の目の前で来訪者を楽しませてくれました。水中に立っている杭の皮をはがして虫を探す動作をするなどして、適応力がありそうな様子を見せていました。(松田幸保 11/09)

昨朝(11/18)、木村さんが見られたホオジロカンムリヅルを、私も新聞を見ながら見守ってました。水に入るのを待っていたら、3時間後に入りましたので目的達成。JBFの時には、杭の皮を剥がしているのを見ましたが、昨日は木造ボートの腐った部分を突っついて、落ちた木屑を食べたりしていました。粗食家のようなですね！(松田幸保 11/19)

#### 【北新田】

今日(11/01)の北新田の観察記録です。

- ・ウズラシギは稲刈り田に1羽でいました。
- ・一昨年から越冬ホオアカがみられている休耕田で、今年も10月27日から見られるようになりました。
- ・今秋のタゲリ初認は10月16日の4羽で比較的早かったですが、その後は全く見られず、飛来が遅れています。
- ・昨日(10/31)は稲刈り後の耕田にムナグロが1羽いました。(中野久夫 11/01)

昨日の「北新田の鳥 11/01」信で、北新田のタゲリは10月16日の初認以降全く見られず飛来が遅れていると報告しましたが、今日一気に90+羽の大群で来ていました。北新田橋の北西の田んぼ付近に30+羽、北新田橋の1つ上流(金谷水門側)の橋付近の田んぼに60+羽の群れて今日の北新田の観察記録です。いました。(中野久夫 11/02)

- ・タゲリは北新田橋の北東、国道6号線近くの耕田にいました。例年、タゲリは飛来当初の1ヵ月、11月いっぱい北新田橋の北西の田んぼにいて、その後北東の田んぼや畑の方に分散して行くことが多いのですが、今年は最初から北東の田んぼに多いことです。
- ・北新田では10日からツグミ、オオジュリンがみられるようになりました。
- ・12日の朝7時40分ごろ、北新田上を7羽の白鳥(コハクチョウ?)がきれいなV字編隊でコウコウと鳴きながら南から北へ飛んでゆきました。本埜村から菅生沼への移動でしょうか。(中野久夫 11/17)

- ・200羽以上のカワウの群れが越流堤横の利根川から飛び立ち上流のほうに飛んでゆきました。

・タゲリは田んぼでは見当たらず、探すと青山水門付近のホウレンソウ畑にうずくまっていた。ハヤブサが来ていたせいかもしれません。(中野久夫 12/01)

#### 【手賀沼】

今日の夕方、大津川河口の干潟にいるホオジロカンムリヅルを見ていました。4時45分に飛び立って対岸の我孫子側GS近くの葦原にある台に降りました。杭に止まっていたミサゴは動きませんでした。松田さんもメールに書いていましたが河口付近を夕空を背景に大きく旋回するムクドリはなかなかの見ものでした。はじめのグループは沼南側の林の方に行きましたが第二第三の千羽以上の群れは小さなグループを吸収しながらうねるような飛行を繰り返して4時50分頃から葦原に降りました。その後何度か低く飛び立ったものの5時には落ち着いたようでした。(木村稔 11/06)

今朝、犬の散歩がてら手賀沼公園でホオジロカンムリヅルを見ましたがあまりに暖かく良い天気なので遊歩道を水の館の先まで足を伸ばしました。途中、鮮やかな紅葉も見られ意外に多くの鳥に出会いました。

エナガ、シジュウカラ、コゲラ、メジロの混群、それを狙うモズやカワラヒワ。アトリ、ツグミの群れ、アオジ、ジョウビタキ。波のまったく無い沼に点点と浮かぶカンムリカイツブリ、エクリプスのコガモ、植生帯のセイタカシギなどこの秋初めて出会った鳥も含めて盛り沢山でした。明日は真冬になってしまうようでヒメアカタテハやアキアカネも出なくなるかもしれません。先日、谷津でクロコノマチョウ、オオアオイトトンボを見ておいでよかった。皆さん、気温の急変で風邪など引かないようにしてください。(木村稔 11/18)

#### 【シメ】

2日前にシメの鳴き声が聞こえたので念のため餌を置いておいたら今朝隣家の桜に飛んできて盛んに鳴いていました。餌も減っていたのでどうやら今年は例年より一月も早くやってきたようです。これで7シーズン目の訪れです。(諏訪哲夫 11/11)

### **前会長木村稔さん 千葉県功労者表彰を受賞**

前会長木村稔さんは平成20年11月3日の文化の日に千葉県から環境功労者表彰を受賞されました。木村稔さんは昭和51年、我孫子野鳥を守る会に入会以来、手賀沼や我孫子市周辺の野鳥の調査及び保護活動に取り組み、平成3年から14年間会長を務め、自然環境保全の普及啓発活動及び清掃や沼の浄化等の環境美化など自然保護に尽力されたことが評価されました。

#### 【木村さんのコメント】

これはひとえに鳥が縁で永年お付き合いくださった皆様のおかげと感謝しております。また私個人というより我孫子野鳥を守る会、鳥の博物館友の会に対する千葉県の評価だと思います。皆様にお礼申し上げます。

#### 【受賞のお祝い会】

木村稔さんの受賞を祝してお祝い会を下記により開催いたします。多くのみなさんの参加をお待ちしています。なお、お祝い会は我孫子野鳥を守る会と我孫子市鳥の博物館友の会との共催です。

日時 平成 21 年 1 月 25 日 ( 日 ) 午後 5 時 30 分 ~ 7 時 30 分  
場所 けやきプラザ 11 階「旬菜ムッターランド」 Tel : 04 - 7184 - 1170  
会費 3,500 円  
申込 平成 21 年 1 月 18 日までに染谷迪夫まで申し込みください。  
なお、当会と鳥博友の会の両方の会員の方は染谷迪夫まで申し込みください。  
Tel/Fax : 04 - 7182 - 3972、E-mail : [m x someya@nifty.com](mailto:m x someya@nifty.com)

## 柏市中原小 探鳥指導

日時 10 月 30 日 ( 火 ) 13:15 ~ 15:15  
参加者 柏市立中原小 4 年生 52 名 先生方 3 名 計 55 名  
場所 手賀の丘少年自然の家周辺と手賀沼染井入落、お立ち台周辺  
探鳥指導内容 : 4 年生が手賀の丘少年自然の家に一泊する総合学習のカリキュラムの中で、野鳥観察を希望した 1 組から 4 組の生徒 52 人 ( 6 班編成 ) と先生方 3 人を、隣接する手賀の丘公園と手賀沼で野鳥観察の指導をした。手賀の丘公園では冬の季節に見られる山の鳥、手賀沼では冬の水鳥を観察。身近にいろいろな鳥を観察して、生徒はかなりの興味を示し、感激し驚きもあったようだ。約 2 時間の観察であったが集中力が途切れなかった。普通なかなみられないことである。好きなことをするという事は子供達にとって大事なことだと思った。後日、子供達から感想文が送られてきましたので、原文のまま掲載します。今後の子供たちの指導の参考になればと思います。  
探鳥指導者 北原建郎、染谷迪夫、木村稔、間野吉幸、松田幸保、小玉文夫  
認めた鳥 : カイツブリ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、オナガガモ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、コゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、エナガ、シジュウカラ、メジロ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、コブハクチョウ 26 種

『 先日は、ネイチャースクールの「バードウォッチング」活動で大変お世話になりました。子ども達は、様々な鳥の特徴について興味を持って、楽しく観察することが出来ました。自然に十分触れることができ、とても有意義な体験ができたと思います。丁寧に詳しく説明をしていただき、ありがとうございました。今回の貴重な体験を、今後の総合や理科の学習にいかしていきたいと思います。柏市立中原小学校 4 年 担任一同 』

### 子供達の感想文

この間はぼくたちに鳥のことを教えてくださりありがとうございました。きたはらさんのおかげで鳥にきょうみがわいてきました。鳥が来ると友達とあの鳥なんだろうと言って調べています。ぼくもきたはらさんみたいに、見たらすぐわかるようになりたいです。僕がすきな鳥は「シジュウカラ」です。勉強になった 2 時間でした。ありがとうございました。

清水大輝

このあいだは鳥のことでお世話になりました。いろいろな鳥の種類、なき声などよくわかりやすく教えて下さってありがとうございました。全部で 18 種類の鳥を見つけられたので

とてもうれしかったです。鳥にきょうみをもつことができたので、とてもよかったなと思いました。ありがとうございました。  
小林みくり

体験活動の時すごくお世話になりました。そのおかげで 18 種類もの鳥を見つけられました。わからない鳥や鳥のせいかくを、くわしくせつめいしてくれてほんとうにありがとうございました。そのおかげで船上見学でいた鳥の名前がかんたんにわかりました。北原さんにおしえてもらったことはいっぱいあります。カラスには二種類あることとかいろいろあります。とてもべんきょうになりました。ありがとうございました。  
金澤怡生

このたびは鳥についていろいろなことを教えてくださってありがとうございました。このバードウォッチングで学んだことを生活のいろいろなところでいかしております。あのバードウォッチングから鳥のことについてきょう味をもち本で鳥を調べたりしました。鳥のことをくわしく教えてくださり本当にいい勉強になりました。ありがとうございました。  
竹花水希

バードウォッチングでいろいろな鳥を教えてくださってありがとうございました。木村さんは、カルガモやハクセキレイ、いろいろな鳥の名前をしっていてすぐ、わかりました。いろいろな鳥がわかりました。ありがとうございました。  
大杉千佳

この前のネイチャースクールの体験学習ではいろいろな鳥のことを知りました。私は木村さんや野鳥の会の人たちがいなければあのようなことはできなかったと思います。そしてバードウォッチングに入って本当に良かったな、と思いました。野鳥の会の人たちそして、木村さんありがとうございました。  
花井祐希

ネイチャースクールの時は、有難うございました。おかげで鳥のことがよくわかりました。公園の方には、あまり鳥がいなかったけど、沼の方に行くと、鳥がいっぱいいましたね。それに、カワセミも見れてよかったです。とてもかわいかったですね。小玉さんの、ぼうえんきょうで見たらもっとよく見れました。ありがとうございました。よく見れなかった鳥は図かんで見せていただきありがとうございました。「オオバン」はおでこが白いのでわかりやすかったです。いろいろな鳥を見れてよかったです。小玉さんと活動できてよかったです。ありがとうございました。  
坂東ゆか

この前はお世話になりました。とても楽しかったです。いろいろな鳥をたくさん見つけましたね。鳥の名前を教えてください、図かんを見せてくれたので、楽しい勉強になる体験活動になりました。最初は十わも見られないのかと思ったけれど、予想より5わも多く見られましたね。ぼくは、とても満足です。とても楽しかったです。ありがとうございました。  
益子大樹より

10/30(木)はバードウォッチングでボランティアをしてくださりましてありがとうございました。おかげで大成功で終わりました。僕たちはおかげで今まで知らなかった鳥や、見たことのない鳥を見つけられました。シジュウカラ、エナガ、スズメ、カワセミ、サギなどのたくさんの鳥を見られて、とてもうれしかったです。野鳥の会のみなさんありがとうございました。  
小瀧崇正

そめやさん、ネイチャースクールの時はいろいろとお世話になりました。あの時は鳥のなき声や出げんする場所などを、おしえてくださってありがとうございます。ぼくは、時間がある時に自分から鳥をかんさつしてみたいと思っています。そめやさん、ほんとうに

ありがとうございました。今でもとってもかんしゃしています。

佐藤拓海

バードウォッチングの時は鳥についてくわしくせつめいしていただきありがとうございました。手賀沼でしか見れない光景やジョウビタキなどめずらしい鳥が見れてとっても楽しかったです。一生ない体験ができてうれしかったです。ありがとうございました。

浜島汐里

このまえのバードウォッチングの時はありがとうございました。すごくたのしかったです。知らない鳥の名前をいろいろしることができました。わたしがおぼえている鳥の名前はスズメ、ハシブトガラス、ハシボシガラス、ジョウビタキぐらいしかおぼえていませんが、もっとたくさんの鳥を見ていると思います。大きい鳥から小さい鳥まで見ることができました。それになきごえまでおしえてくださってありがとうございました。これからは鳥のなきごえきいたり、鳥をきにして道のあるいていきたいとおもいます。ありがとうございました。

飯野美波

10月30日は鳥の説明をわかりやすくしてくださり、たいへんありがたく思っています。知らない鳥やその鳥の特ちょうがよくわかりました。シジュウカラという鳥、パソコンや本で調べていたのでどういう鳥か知っていたのですが、鳴き声だけはどう鳴くかは知らなかったのですが、活動でシジュウカラの鳴き声を知ることができました。これもそめやさんのおかげです。本当にありがとうございます。吉岡より

このまえは、わたしたちの勉強のために鳥についてくわしく教えてくださってありがとうございました。今では鳥の種類が前よりもわかるようになったので、道を歩いていて鳥を見つけても何の鳥なのかわかるようになりました。これからも鳥についてたくさん調べて鳥のよさをみんなにわかってもらい、勉強に役立てたいです。本当にありがとうございました。

高橋友珠希

こないだはお世話になりました。さい初から、さい後までいねいにおしえて下さいましてありがとうございました。とても勉強になりました。私も鳥の種類が少しわかるようになりました。学校の行き帰りも鳥が飛んでいたらこれは、何の鳥かわかるようになりました。鳥を見るのがすきになりました。本当にありがとうございました。

金井雪

この前は、鳥のことをよくおしえてくださってありがとうございました。おかげで鳥のことがくわしくわかりました、ありがとうございました。カワセミは見れなかったけどカワウ、マガモ、ユリカモメ、シジュウカラ、コブハクチョウのことがたいへんよくわかりました。バードウォッチングをえらんでよかったなと思いました。すごくおもしろかったです。ぼうえんきょうで鳥をよくかんさつしたのが楽しかったです。ほんとうに鳥のことをくわしくおしえてくださってありがとうございました。

草間隆成

2 グループを見守ってくれてありがとうございました。ぼくは、とても鳥のことをわかったし、学べました。みた鳥の名前や鳴ごえとかをおしえてくれて、ありがとうございました。ぼくは、鳥をすきになりました。カワセミは見れなくてざんねんだったけれどたくさんの鳥をたくさんみれました。ありがとうございました。

岩崎大地

間のさん、わからない鳥の名前やいろいろな鳥やいろいろな種類の鳥を本で見せてくれたり、鳴き声を聞かせてくれてありがとうございました。鳥のことはきらいだったけど鳥のことがとても好きになりました。いそがしい時なのいろいろなおしえてくれてありがとうございました。

いました。

とみ田れい

10月30日のバードウォッチングでいろいろなことをおしえていただきありがとうございました。ぼくたちは、本やコンピューターで調べた鳥をなまで(ぼうえんきょうでちかくで)見れたのですごくうれしかったです。本にペンをあてて、かわせみなどの鳥の声を聞かせてくれてほんとうにありがとうございます。 嘉野啄也

10月30日は、たくさんの鳥をみせていただきありがとうございました。いろいろな鳥の種類やひごろみれない鳥をみることができました。わたくしは、こんな活動ができて幸せだなと思いました。わたくしは、いつも何も感じず鳥をみていましたが、この活動で鳥をみるのがとても楽しみになりました。ほんとうにありがとうございます。 しのだみゆき

ぼくは、バードウォッチングのボランティアの方のおかげでバードウォッチングができたけど、いなかったらできなかつたと思いました。ありがとうございました。ぼくはバードウォッチングができてとてもうれしかったです。ぼくはバードウォッチングのボランティアの方でいろいろな鳥の名前をしりました。 すなはらりようが

### 柏市光ヶ丘中 探鳥指導

日 時 11月11日(火) 9:00~11:00

コース 手賀沼公園から遊歩道沿いを通り漁業組組合まえから鳥博まで

参加者 柏市光ヶ丘中1年生34名:6組 担当教諭 1名 計35名

探鳥指導内容 : 総合学習の一環として地域学習の中で「手賀沼とその周辺の自然と歴史を調べる学習テーマを設け、手賀沼に飛来する野鳥についての調査班は“手賀沼でバードウォッチング行った

探鳥指導者 木村稔、北原建郎、小玉文夫、田中功、松田幸保、松本勝英、染谷迪夫

認めた鳥: オオバン、バン、ユリカモメ、カルガモ、オナガガモ、シジュウカラ、コゲラ、エナガ、スズメ、ムクドリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワセミ、アオジ、セグロカモメ、ミサゴ、コブハクチョウ、ハシブトガラス、ハシボシガラス、コサギ、ダイサギ、ウグイス、モズ、ミサゴ、アオサギ、マガモ、カワウ、キジバト、カワラバト、ホオジロカンムリヅル、アヒル、シナガチョウ、バリケン 33種

### 11月幹事会報告

日 時 11月17日(日) 13:30~16:30

場 所 アビスタ 2F第4学習室

議 題

1. 芋煮会の実施と作業分担

提案通り了承された。去年と同じように奉行制で実施

2. 会報206号記載記事について

記載記事は原案通り了承され、担当者も決定。

3. 会計中間(第2四半期)報告

会計担当の北原幹事が説明、了承された。

#### 4. 報告事項

JBF 実施概略報告 事務局と各担当者より報告。

今回の入場者数は、JBF 運営委員会の公式発表では、33,000 人の入場者。当会で全企画（ブース、定点及び船上バードウォッチング）の参加者は 1,947 人

HP 運営について 新たな企画案を提案し、検討の結果、次のとおり決定

- ・リンク先について関係団体との相互リンク依頼する。 - 事務局が相手先と調整相談
- ・会の行事紹介、トピックス情報、新しいニュースなど工夫して掲載する。

手賀沼と冬鳥、舟とウォーキングによるモニタリングツアー（仮題）について  
利根川舟運・地域づくり協議会より当会に案内依頼があった。

平成 21 年 1 月 12 日開催予定、120～150 人の予定で対応に 10 人以上必要だが引き受ける方向で決定

木村前会長の県功労賞受賞のお祝いの会を開催することに決定。詳細は事務局に一任  
千葉大学工学部の学生から「手賀沼流域に関するアンケート調査」の依頼 対応は事務局に一任

美手連の「手賀沼基金」について、当会から JBF 紙芝居制作費 4 万円の助成を申請し、助成が決定。

10/18、手賀沼流域フォーラムまとめの会が開催され、地域イベント報告会で当会の探鳥会に参加した小学生 2 人が探鳥会の感想を報告。内 1 人は探鳥会がきっかけで夏休みの野鳥観察研究し金賞受賞。

10/30、中原小学校児童の探鳥指導実施（52 名）

11/2、美手連が勉強会を開催。参加 4 団体（含む当会）の活動を相互に報告し理解を深めた。

11/11、光が丘中学校生徒の探鳥指導実施（34 名）

#### 当会のバッジを作製

2002 年に我孫子野鳥を守る会 30 周年記念事業として、会員用バッジを作製し会員へ配布しましたが、このたび、新たに同一のバッジを作製しました。ご希望の方に販売を致します。当会の会報「ほーほーどり」（＝アオバズク）をデホルメした可愛いバッジです。実物は探鳥会などで会員がつけているのをご覧下さい。値段は 1 個 400 円です。お求めは、事務局染谷まで（Tel/Fax：04-7182-3972）

#### ほーほーどり No. 206 （2009 年 1 ～ 2 月号）

発行 2009 年 1 月 1 日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 染谷迪夫 〒270 1154 我孫子市白山 1 - 9 - 4 Tel：04 7182 3972

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140 - 2 - 647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000 円（大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料）